# (19) 日本国特新庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号 特開2001-315741 (P2001-315741A)

(43)公開日 平成13年11月13日(2001.11.13)

(51) IntCL'

識別記号

FΙ

テーマコート\*(参考)

B65D 1/02

B65D 1/02

B 3E033

#### 審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全 3 頁)

(21)出願番号

特置2000-130746(P2000-130746)

(22)出顧日

平成12年4月28日(2000.4.28)

(71)出願人 000008909

株式会社吉野工業所

東京都江東区大島3丁目2番6号

(72)発明者 太田 淳士

東京都江東区大島3丁目2番6号 株式会

社吉野工業所内

(72)発明者 嶋田 伸治

東京都江東区大島3丁目2番6号 株式会

社吉野工業所内

(74)代理人 100059258

弁理士 杉村 暁秀 (外2名)

Fターム(参考) 3E033 AA01 BA18 BA21 BA26 CA02

CA05 CA07 CA11 DA03 DB01

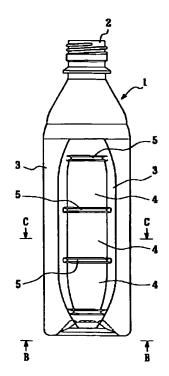
DD03 EA05 FA03 GA02

# (54) 【発明の名称】 高温内容物の充てんに適したポトル状の合成樹脂製容器

# (57)【要約】

【課題】 高温の内容物の充てんに適したボトル状の合 成樹脂製容器において、減圧後における容器の軸線方向 の座屈強度を高めるとともに、容器の姿勢の安定化によ りライン適正の向上を図る。

【解決手段】 内容物の充てん、注出を行う開口部を有 し、四隅を有するボトル状の合成樹脂製容器において、 容器本体の四隅に該容器本体の長手方向に沿って延びる 円弧面を設け、四隅のそれぞれに挟み込まれて容器の胴 部を形成する領域に、少なくとも一つの補強リブを有す る減圧吸収壁を形成し、減圧吸収壁の形状変形によって 円弧面の曲率半径がより小さくなるようにする。



1

#### 【特許讃求の範囲】

【請求項1】 内容物の充てん、注出を行う開口部を有 し、四隅を有するボトル状の合成樹脂製容器であって、 前記容器は、容器本体の四隅に該容器本体の長手方向に 沿って連続的に延びる円弧面を有し、四隅のそれぞれに 挟み込まれて容器の胴部を形成する領域には、少なくと も一つの補強リブを有する減圧吸収壁を備え、

該円弧面は、減圧吸収壁の形状変形に伴い曲率半径がよ り小さくなるものである、ことを特徴とする高温内容物 の充てんに適したボトル状の合成樹脂製容器。

【請求項2】 補強リブは、容器を載置する面と平行に 配置されるものである、請求項1記載の合成樹脂製容

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、温度が80~95 ℃程度の高温の内容物を充てんするのに適したボトル状 の合成樹製容器に関し、とくに、該容器の減圧後におけ る座屈強度の向上とライン適正の改善を図ろうとするも のである。

#### [0002]

【従来の技術】80~95℃程度の温度で処理された内 容物をその温度を保有した状態で容器内に充てん、密封 して商品として出荷される場合、内容物が常温まで冷却 されると容器内が減圧され容器自体の形状変化が避けら れない。

【0003】この種の容器は、圧力変化吸収能力を向上 させることが不可欠であって、従来は、容器本体の胴部 に減圧による形状変化を吸収するための工夫が施されて おり、この点に関する先行技術としては、例えば、特開 30 その形状を保持する機能を有する。 平7-172423号公報が参照される。

【0004】ところで、このような充てん温度の高い内 容物を密封する容器は、容器の長手方向(軸線方向)に 加わる荷重に対する強度(座屈強度)が減圧後において も高く保持され、かつ、連続ラインにおいて滑走させな がら搬送する際に容器が簡単に転倒することがない、い わゆるライン適正の良好なものが求められてきている。

【0005】本発明の課題は、充てん温度の高い内容物 を密閉するボトル状の容器につき、減圧後においても高 い座屈強度を有し、かつ、ライン適正の良好な合成樹脂 40 製容器を提案するところにある。

#### [0006]

【課題を解決するための手段】本発明は、内容物の充て ん、注出を行う開口部を有し、四隅を有するボトル状の 合成樹脂製容器であって、前記容器は、容器本体の四隅 に該容器本体の長手方向に沿って連続的に延びる円弧面 を有し、四隅のそれぞれに挟み込まれて容器の胴部を形 成する領域には、少なくとも一つの補強リブを有する減 圧吸収壁を備え、該円弧面は、減圧吸収壁の形状変形に 伴い曲率半径がより小さくなるものである、ことを特徴 50 れるポリアミド、ポリカーボネート、ポリアセタール、

とする高温内容物の充てんに適したボトル状の容器であ

【0007】上記のボトル状の容器において、補強リブ は、容器を載置する面と平行に配置されるものが好適で ある。

#### [8000]

【発明の実施の形態】四隅を有するボトル状の容器につ き、その四隅に容器本体の長手方向に沿って連続的に延 びる円弧面を形成し、この円弧面の曲率半径を容器の減 10 圧に際して小さくなるようにしたので、減圧後における 容器は、その四隅にあたかも柱がたっているようにな り、その結果として容器の長手方向における座屈強度が 上昇するとともに、搬送ライン上で多数の容器を押圧、 滑走させて搬送する場合に容器が転倒しにくくライン適 正が改善される。

【0009】以下、図面を用いて本発明をより具体的に 説明する。 図1~4はその平面形状が四角形状になる本 発明に従うボトル状合成樹脂製容器の構成を模式的に示 したものである。

【0010】図における番号1は容器本体、2は容器本 20 体1に形成され内容物の充てん、注出を行うための開口 部である。また、3は容器本体1の四隅でその長手方向 に沿って連続的に延びる円弧面、4は減圧吸収壁であ り、この減圧吸収壁4は四隅のそれぞれに挟み込まれた 領域に設けられ、ブロー成形に際して容器の胴部と一体 的に形成される。

【0011】また、5は減圧吸収壁4と一体になる補強 リブである。この補強リブ5は容器に内容物を充てんし た際の膨れを防止するとともに容器内が減圧された際、

【0012】上掲図1~4に示したような構成になる容 器は高温(80~95℃程度)の内容物を充てんして密 閉したのち、常温まで冷却されると容器内の減圧により 減圧吸収壁4は補強リブ5とともに容器の軸心に向けて 移動し、それによって図5(図4に対応)に示すように 容器本体1の円弧面3の曲率半径はrからr′へと小さ くなるため、結果としてその部位が柱としての機能を発 揮するようになり、容器の長手方向における強度が著し く高くなるとともに、容器の搬送姿勢がより一層安定化 される。

【0013】図6は容器の外周にシュリンクラベル6を 配置した例を示したものである。容器本体1の円弧面3 の曲率半径が小さくなるとシュリンクラベル6により各 隅が梁によって連結された状態になるので、容器の強度 はより一層高くなり、座屈応力に対する抵抗が増すこと になる。

【0014】本発明の容器において使用することができ る一般的な合成樹脂としては、ポリエチレンテレフタレ ートを挙げることができるが、それ以外に耐薬品性に優 ·3

ポリブチレンテレフタレート等の樹脂等を用いることもでき、成形法に関しては、2軸延伸ブロー成形法やダイレクトブロー成形法が適用される。

# [0015]

【発明の効果】本発明によれば、比較的温度の高い内容物を充てんする合成樹脂製容器において減圧後における容器の長手方向における座屈強度を高めることができるとともに、搬送ライン上の容器の姿勢が安定化されライン適正がよくなる。

# 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に従う合成樹脂製容器の構成説明図である。

【図2】図1に示した容器のA-A視図である。

【図3】図1に示した容器のB-B視図である。

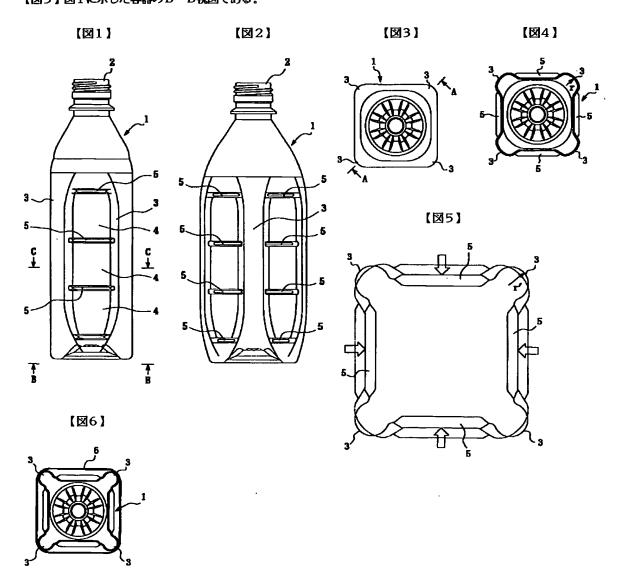
【図4】図1に示した容器のC-C断面を示した図である。

【図5】減圧後における容器の断面形状を示した図(図4に対応)である。

【図6】シュリンクラベルを配置した例を示した図である。

# 【符号の説明】

- 1 容器本体
- 2 開口部
- 10 3 隅
  - 4 減圧吸収壁
  - 5 補強リブ
  - 6 シュリンクラベル



PAT-NO:

JP02001315741A

DOCUMENT -

JP 2001315741 A

IDENTIFIER:

TITLE:

BOTTLE-SHAPED CONTAINER MADE OF SYNTHETIC RESIN SUITABLE FOR

FILLING HIGH TEMPERATURE CONTENT

PUBN-DATE:

November 13, 2001

#### INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

OTA, ATSUSHI

N/A

SHIMADA, SHINJI N/A

#### ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

YOSHINO KOGYOSHO CO LTD N/A

**APPL-NO:** JP2000130746

APPL-DATE: April 28, 2000

INT-CL (IPC): B65D001/02

### ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enhance the buckling strength in the axial line of a bottle-shaped <u>container</u> after decompression, which is made of a <u>synthetic resin</u> and suitable for the filling of high temperature content, and to stabilize the posture thereof to enhance the line aptitude thereof.

SOLUTION: In the bottle-shaped <u>container</u> made of the <u>synthetic resin</u> having an opening part performing the filling with and pouring of content and four corners, arcuate surfaces extending along the longitudinal direction of the <u>container</u> main body are provided to four corners of the <u>container</u> main body and reduced pressure absorbing walls each having at lest one reinforcing rib are formed to the regions held between four corners to form the body portion of the <u>container</u> so as to more reduce the radii of curvature of the arcuate surfaces by the shape deformation of the reduced pressure absorbing walls.

COPYRIGHT: (C) 2001, JPO